

ECO & CSR 報告書 2025



 株式会社 初田製作所

 www.hatsuta.co.jp

お客様相談窓口 **0120-82-2041**

電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

回収・リサイクル
相談窓口 **0120-82-2306**

電話受付時間 10:00~12:00,13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

<https://ferecycle.jp>

1 トップメッセージ

- 1 トップメッセージ
- 2 HATSUTAのSDGs

2 会社紹介

- 3 企業概要
- 4 企業理念
- 5 組織体制
HATSUTAの取り組み
- 7 事業内容
- 9 サービス
- 10 関連会社と販売代理店

3 特集

- 11 防災関係者の安全性向上に向けた取り組み
- 13 確実な初期消火の普及に向けた取り組み

4 CSR 活動報告

- 14 職場環境の改善
- 15 人材の育成と防災教育
- 16 地域・社会への貢献活動

5 ECO 活動報告

- 17 サステナブルな取り組み
- 18 オゾン層保護運動への取り組み
- 19 地球温暖化対策への貢献

編集方針

「ECO&CSR報告書2025」は、HATSUTAにおける「環境負荷の軽減に対する取り組み(ECO)」や、「様々な社会貢献活動を通じた企業の社会的責任(CSR)の達成」について報告することを目的に編集しました。

対象期間: 2023年12月1日～2024年11月30日
※一部の内容に、2025年4月現在の情報が含まれています。

対象範囲: 日本・中国・台湾・タイ・ベトナム

対象組織: 初田製作所及び関連会社

発行年月: 2025年6月

前回発行: 2024年5月

参考にしたガイドライン:

環境省環境報告ガイドライン（2018年版）

表紙の写真



瓢湖

瓢湖は、HATSUTAの工場拠点のある阿賀野市にある湿地で、江戸時代からその池での狩猟が禁じられたことで水鳥の楽園となりました。

1945年には初めてのハクチョウの給餌に成功し、「白鳥の湖」として全国的にその名を知られるようになります。

2008年にはラムサール条約へ登録され、水鳥にとって国際的に重要な湿地として認められています。現在では、10月から3月頃にかけて多くのハクチョウが飛来しており、水鳥の様子を目の前で観察することができます。

(環境省HP「日本の条約湿地」より)

トップメッセージ

今日私達は、地球規模での環境破壊や気候変動による、大規模な自然災害をはじめとし、新興感染症、貧困と食料問題、人口の高齢化など、地球上の人々の生命と健康を脅かす多くの困難な課題に直面しています。

近年では、未だ多くの爪跡を残す令和6年能登半島地震や日本各地をはじめ、ロサンゼルス近郊や韓国で発生した大規模な山火事など、多くの自然災害や森林火災が世界各地で発生し、幾多の尊い生命や財産が奪われてしまいました。

犠牲になられた方々に心からの哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様に深くお見舞い申し上げます。被災された皆様の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は、明治35年（1902年）の二重瓶消火器株式会社創立から120年が過ぎ、「文化財や建造物にとどまらず、そこに住まう人々の生命や財産をも火災の脅威から守る」といった思いを原点に、常に時代の変化に対応した事業活動を行ってまいりました。一世紀を超えて操業することが出来たのも、消火・防災という業界において、時代と共に変化する社会環境へ適応し、お客様のニーズへお応えしてきたことが、社会やお客様から認めていただけた故と考えております。

これからも、環境の維持保全への継続的な取り組みはもちろんのこと、国際的な課題である「持続可能な社会の実現」を見据えて、循環型社会や脱炭素社会などに適応した活動を行う企業を目指します。また、「安全と品質の確保、環境への配慮、法令遵守、企業倫理の浸透」を基盤とした事業活動の継続とステップアップに努め、企業としての社会的責任を果たしてまいります。

株式会社初田製作所

代表取締役社長 初田 和弘

HATSUTAの原点とロゴマーク

HATSUTAの社章として使用しているダブルリングマークの由来は、HATSUTAの原点である「二重瓶消火器」にあります。HATSUTAは1902年の創立当時、高木文平氏により発明された「二重瓶消火器」を生産販売していました。この消火器の底は二重になっており、それを図案化したものがダブルリングであると言われております。

このマークは創立当時から使用され、1907年に商標登録されました。



HATSUTAの社章
(ダブルリングマーク)



二重瓶消火器

HATSUTAのSDGs



2022年12月に120周年を迎えたHATSUTAは、人命・財産・文化を火災から守ることを企業理念とし、創業より人と社会を重視した経営方針を実践してまいりました。誰一人として取り残さない（Leave no one behind）というSDGsの理念に賛同するとともに、企業成長や経済活動で発生する社会への不利益を自分ごとと考え、社会包摂や環境課題への取り組み行動（SDGs活動）を推進いたします。SDGsの達成に向けて具体的アクションを起こし、社会に貢献しながら、更なる成長を目指します。

HATSUTAのビジョン・バリューを軸として、国連の持続可能な開発目標（17項目）を指針に、3つのサステナビリティに向けての重点課題を設定いたしました。詳細は各ページでご紹介いたします。

HATSUTA品質による、安全・安心な社会への取り組み

- ・安全対策強化サポート
- ・全ての人が使いやすい製品開発への取り組み
- ・安全・安心のための消防設備機器を理解・体感していただく取り組み



環境にやさしい防災システムの創造

- ・サステナブルな取り組み
- ・地球温暖化対策への貢献
- ・オゾン層保護運動への取り組み



社会を取り巻く全ての人々の幸せを実現

- ・社員への投資を推進し、社会課題へ貢献
- ・基礎教育を推進し、防災業界へ貢献
- ・防災プロ人材育成を推進し、社会や環境課題へ貢献
- ・東南アジア向け学校建設プロジェクト S-PROJECT

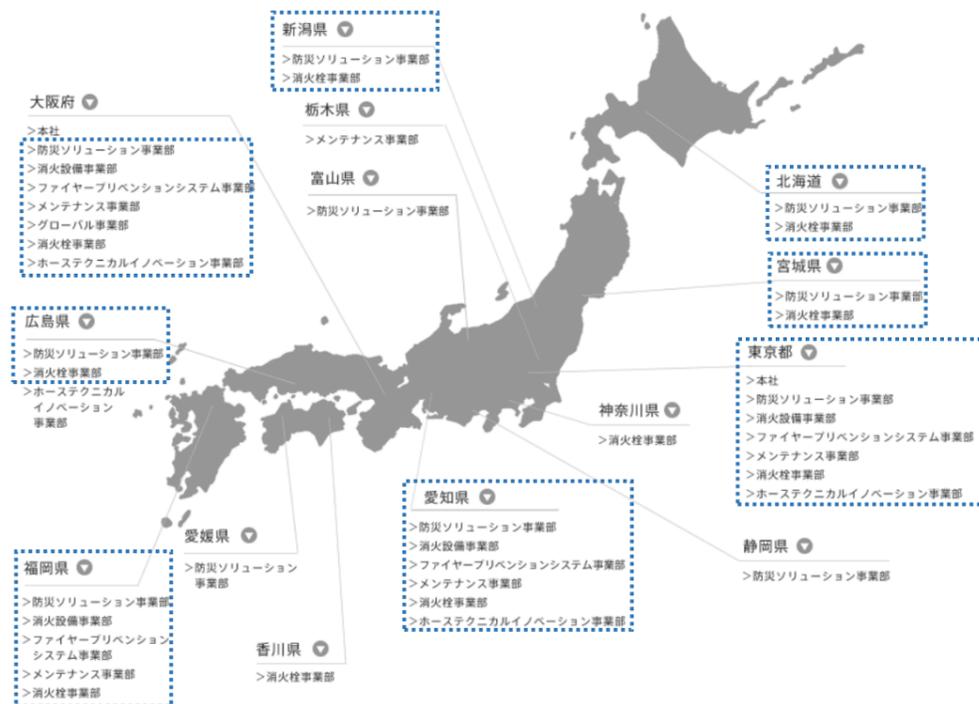


企業概要



社名	株式会社初田製作所
代表者名	代表取締役社長 初田和弘
所在地	〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
創立	明治35年(1902年)12月1日
会社設立	昭和22年(1947年)8月19日
資本金	8千万円
従業員数	798名(2024年12月1日現在)
事業内容	各種消火器、消防設備、自動消火システム、ピット消火システム(YPS)、消火栓、消防用ホース、防災商品の製造・販売、施工、メンテナンス、損害保険代理店業

2024年12月をもって、複数の事業部が在籍する営業拠点の拠点統合が完了いたしました。



企業理念

HATSUTAでは、「社是」を基本ポリシーとして、企業活動に取り組んでいます。今後もこの志を原動力に、HATSUTAは成長を続けていきます。



社是

誠実と努力と根気を信条とし、
堅実なる経営を通じて、優秀なる製品を市場に送り、
社会公衆の利益向上に寄与する。

環境・品質理念

私たちハツタは、絶えずお客様の立場で考え活動します。
かけがえのない生命と大切な財産を守り、青い地球の環境保全のため、
安心と品質の創出と自然との調和を目指します。

環境方針

製品のライフサイクルを通して
環境負荷を考え、より良い社会に貢献
します。

品質方針

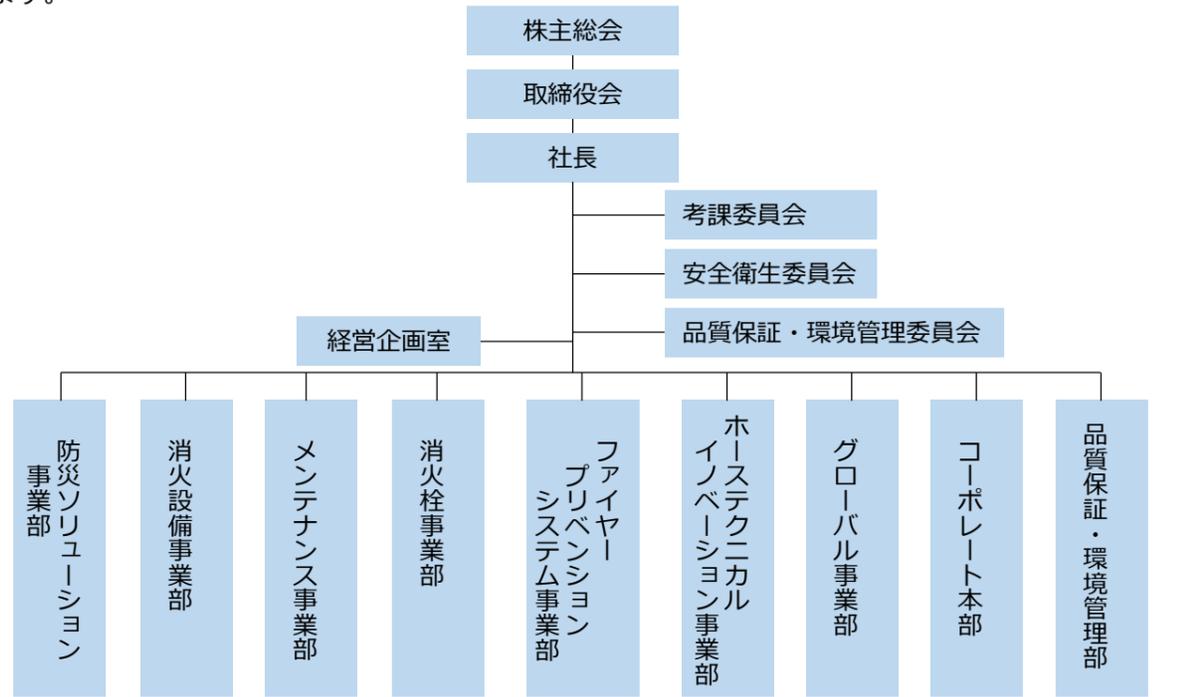
顧客にとって優秀にして価値ある製品を
創造し提供します。

環境・品質基本方針

1. 製品の設計、製造、使用、廃棄に至るまでの全てのライフサイクルにおいて、顧客・環境に配慮し、効率の良い製品造りを目指します。
2. 環境汚染の予防を推進するとともに企業活動全般の変化を評価し、関係部署で環境目標目的・品質目標目的を定め、実行し、定期的に見直しを実施します。
3. 環境及び品質マネジメントシステムに対する定期的な監査を行い、よりよい成果が得られるように継続的な改善活動を展開します。
4. 全ての活動に適用される法規制と周辺地域と環境保全に関する協定、その他の要求事項を遵守します。
5. 当環境・品質方針を従業員等に周知すると共に一般に公開し、又周辺地域との調和を図ります。

組織体制

当社は、事業活動を通じ発生する環境のリスク及び機会に効果的に対応するため、ISO14001:2015の規格要求事項に基づき、環境マネジメントシステムを確立しています。環境マネジメントシステムを運用し、維持しながら、その有効性の持続的な改善に取り組み、一層の社会的責任を果たしてまいります。



(2025年4月1日現在)

ISOマネジメントシステム認証取得状況

認証取得年月日	認 証 取 得 事 業 所
1999/8/20	ISO9001 本社・本社工場
2002/12/13	ISO14001 本社・本社工場
2004/8/6	東京支社・関西支社
2007/9/21	北海道支店・東北支店・中部支社・北越支店・中国支店・四国支店・九州支店 東北支店・中部支社・中国支店・九州支店・ハツタテクノ
2008/7/11	初田(寧波)消防器材有限公司
2011/6/13	北海道支店・北越支店・四国支店
2014/5/16	ハツタテクノ
2014/6/25	初田(上海)国際貿易有限公司
2017/6/26	初田(上海)国際貿易有限公司, 初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 9001:2015年版 / 初田(上海)国際貿易有限公司, 初田(上海)国際貿易有限公司 ISO 14001:2015年版 認証取得
2017/9/29	国内全部門 ISO 9001:2015年版 / ISO 14001:2015年版 認証取得
2023/1/20	消火栓事業部・ホーステクニカルイノベーション事業部 消火栓事業部・ホーステクニカルイノベーション事業部

HATSUTAの取り組み

わたしたちHATSUTAが未来のためにできること



EUQ-MARK's Policy

初田製作所は「思いやり」をキーワードに、「エコロジー」「ユニバーサルデザイン」「クオリティ」をブランド創造の核としてきました。私たちはこの3つのテーマを具現化した「EUQマーク」を2007年に制定いたしました。

3つのテーマの頭文字、E・U・Qを形状として一番安定感があり、美しいとされる黄金比率に基づいた楕円の形に組み合わせ、「グリーン(大地)」「ピンク(やさしさ)」「ブルー(安心感)」の3色で表現しています。

美しい地球を守るべく、安全・安心で高品質な製品・サービスの提供を行い、ユーザーから選ばれるHATSUTAブランドを目指してまいります。

Ecology
環境にやさしい製品開発を



Universal Design

子供にも、ご年配の方にも、扱いやすい消火器の開発を

Quality
より安全で、より安心な品質を



事業内容

HATSUTAは、かけがえない人命、財産、文化を火災や災害から守り、環境にやさしい防災システムを社会に提供・提案するトータルソリューションカンパニーです。消火器をはじめ、消火設備、製造装置用自動消火システム、消火栓など、環境にやさしい製品を社会に提供しています。製品情報は、当社ホームページ (<https://hatsuta.co.jp/products>) よりご覧いただけます。

防災ソリューション事業

- ユニバーサルデザインで開発された各種消火器、簡易パッケージ型消火システム等に加え、顧客サイドの様々なニーズやケースに最適な防災機器を開発し、対応する事業を展開しています。
- HTCサービスをベースにリスク診断をすることで、よりBCPを考慮し、安全な環境社会へ防災機器を提案しています。



消火設備事業



- 消防設備の機器製造から設計・施工・保守までに対応する事業を展開しています。
- 建築物件、プラント物件などを専門的にとらえ、消防法に則った最適な消防設備を提供します。
- 昨今では、コンパクトな介護施設向けパッケージ型自動消防設備をラインナップし、高齢者の皆様にも安全で安心な生活環境を提案して参ります。

ファイアープリベンションシステム事業

- 工場に於ける安全性の向上に寄与し、企業のBCPの更なる充実に貢献するべく、各種生産設備機器の火災リスクを抑制し、火災による損失を低減させる事業を展開しています。
- 様々な生産設備機器毎に最適な消火システムの製造・設計・施工・保守までを一気通貫で対応するサービスを提供しています。



事業内容

メンテナンス事業



- 現状お使いになっておられる各種消防用設備や機器に対する専門知識を有するプロが迅速・的確に行うメンテナンス事業を展開しています。
- 消防法の点検基準に則った消防設備に関わる点検やリニューアル、建築設備点検を行い、設備機器の状態を常時スタンバイOK状態とし、万一の火災発生時における顧客の安全を提供しています。

消火栓事業

- 屋内消火栓格納箱をはじめ、消火設備機器の各種格納箱を製造販売する事業です。
- 物件ごとのオーダーメイド対応を得意とし、空間に調和するデザイン消火栓の提案も行っています。
- 消火栓フレキシブルユニットなど、施工性が向上する製品も提案しており、現場の多様なニーズにお応えしています。



消防用ホース事業



- 消防用ホース事業は、現場で生きるタフなホースを開発テーマとし、高強度ホースをご提案しています。使い勝手に定評のある当社のカラーホースは、着色系（先染めの糸）を使用して生産しています。
- また、消防用ホースへの知識・理解を深めて頂く取り組みの一環として各消防関係機関への消防用ホース研修の実施や実践的トレーニング「YTT(YOKOIPRO Trail Training)」を行っています。



サービス

HATSUTAは、各種消防用設備等の製品だけではなく、防火・防災のプロとして、ユーザーの不安や悩みを解消する様々なコンサルティングサービスを提供いたします。

火災発生リスク簡易診断サービス（HTCサービス）

<p>火災発生リスク簡易無料診断サービス (HTCサービス)</p> <p>火災発生リスクをいかに無くすかの診断 発生した火災による被害をいかに最小限に留めるかの提案 【消防法に捉われない】</p>	<p>消防点検</p> <p>既設消防用設備の動作確認 【消防法】</p>	<p>HATSUTAの「火災発生リスク簡易診断サービス」では、診断を通じてお客さま個別の火災発生リスクを発見し、その後の安全対策強化のお手伝いをさせていただきます。</p>
---	---	--

損害保険のご案内（損害保険代理店業）

当社が長年培った消防防災機器メーカーとしての知見やノウハウを活かし、個々のお客様に合わせたリスクマネジメント強化のご提案まで、ワンストップサービスでさせていただきます。

取扱品目：火災保険、自動車保険、賠償責任保険、傷害保険 他



体験型防災スキルセミナー（SPSクラブ（Hatsuta Super Pro Shop Club））

消火設備に係るスキルアップの場として、体験型総合研修センター「実消館」を使った、SPSクラブマイスター研修を開催しています。



YOKOIPRO Trail Training Feature!

YOKOIPROでは、消防・防災に関する様々な実践的トレーニングを提供しています。



YOKOIPRO Fire Base（燃焼再現施設）でのDC（Demonstration Cell）体験

- ・「要救助者と消防隊員の双方が無事に火災現場から戻ってくる」を消火機材と設備の開発テーマとして、燃焼訓練施設を設立しました。
- ・2階や地下を想定した濃煙熱気的环境下で消火や救出活動の訓練が可能です。

関連会社と販売代理店



初田寧波

社名 初田（寧波）消防器材有限公司
HATSUTA NINGBO FIRE-FIGHTING EQUIPMENT CO., LTD.

取扱品目 消火システム、警報システム、消火器及び関連部材、消火薬剤、防災関連機器の製造、ハツタベトナムの生産支援

ハツタベトナム

社名 HATSUTA AUTOMATIC SAFETY SOLUTIONS CO., LTD.

取扱品目 50型消火器、移動式粉末消火設備、消火器用部品の組立

初田上海

社名 初田（上海）国際貿易有限公司
HATSUTA SHANGHAI INTERNATIONAL TRADING CO., LTD.

取扱品目 半導体製造メーカー、液晶製造メーカーに対するキャビネットの販売、アルゴナイト消火設備等の環境関連商品の販売、消火器の販売及び海外輸出、設計、施工、メンテナンス&アフターサービスの実施、中国製品の市場調査及び輸出業務、海外生産の支援業務、技術コンサルティング

サイアムハツタ

社名 SIAM HATSUTA CO., LTD.

取扱品目 消火器、スプリンクラー設備、泡消火設備、粉末消火設備、ガス消火設備販売・メンテナンス、アルゴナイト消火設備販売・メンテナンス、自動火災報知設備、避難設備、防災商品販売、メンテナンス、設計、施工、メンテナンスの実施、輸入・輸出販売、技術コンサルタント、危険箇所診断

防災関係者の安全性向上に向けた取り組み



2017年11月、当社は、「要救助者と消防隊員の双方が無事に火災現場から戻ってくる」を消火機材と設備の開発テーマとし、燃焼訓練施設「YOKOI Fire Base」を設立しました。多くの消防関係者、市民、協力業者の方々のご支援をいただき、無事に竣工、運用までたどり着くことが出来ました。これからもYOKOIPROは、みなさまのご協力に応えることが出来るよう、安全、確実、迅速な消火機材と設備の開発、改善に鋭意取り組んでまいります。

活動内容

YOKOIPRO Trail Training (YTT)

消防士を招待しての訓練会
3回/年 開催



JTF 訓練会

非営利活動法人 JTF の火災現場の安全管理を高める訓練会
2回/月 開催



防災関係者の安全性向上に向けた取り組み

参加者の声

- ・紙媒体で火災のメカニズムを勉強することはできるが、実際に火を発生させて観察できたので大変良かった。
- ・普段見ることのできない着火から煙の立ち上がり、中性帯、ロールオーバー、最盛期での熱気を体験できて印象に残った。
- ・火災件数が減少し、指導する立場の間もなかなか現場経験が積めない中でこういった体験ができることがありがたい。

担当者の思い

FireBase での実火災燃焼訓練を通じて区画火災における屋内進入のリスクを理解することにより、

- ・消防隊が現場到着してからの状況確認作業（サイズアップ）、
- ・いかにリスクを軽減させた状況で屋内進入するかを消防士の方々と一緒に考え、
- ・より良い資機材を開発しメーカーとして現場をサポートするという視野が広がった。

また、火災と消防士の健康被害（発がん性リスク）について着目している。活動後の火災除染の重要性を理解し、消防士の健康と生命を守るサポートをしていく。



確実な初期消火の普及に向けた取り組み

火災は小さなうちに消火することが肝要です。初期消火には消火器が効果的ですが、いざという時に慌てず消火活動をするためには訓練がとても大切です。

テストセンセイ®ARは拡張現実（AR）技術を用いた初期消火訓練システムです。大槻ポンプ工業株式会社との共同開発を行い、2024年12月1日より受注を開始いたしました。訓練をするためには訓練場所や指導員の確保が課題ですが、テストセンセイ®ARを使用すれば指導員なしで効果的な消火方法を学べ、いつでも簡単に省スペースで訓練ができます。一人でも多くの命を守るため、テストセンセイ®ARを通して、確実に初期消火ができるための訓練の支援に取り組んでまいります。

テストセンセイ®AR



AR技術でリアルな初期消火体験を

屋内屋外問わず、実際に火災が起きそうな場所や訓練場所で仮想の火災を起こすことができるので現場を想定した訓練が可能です。実際に火災で怖いのは炎だけではなく、燃えることにより発生する煙が視界を遮ります。テストセンセイ®ARは、AR技術を使用したことで、炎の燃え広がりだけでなく煙の発生やぱちぱちという燃焼音なども再現し、現実に近い臨場感のある体験をすることができます。



実物を使用した消火器型コントローラーで重みを体感

テストセンセイ®ARでの初期消火体験では、一度は見たことのある大きさの消火器（ABC粉末10型）の本体を転用した消火器型コントローラーを使用します。ほぼ同じ重量で設計したコントローラーのため、消火器の操作方法が学べるだけでなく実際の重みを感じながら初期消火の訓練が可能です。

どこでも、場所に合わせて訓練可能



職場環境の改善



働き方を見直して労働生産性を向上することは、使用するエネルギーの削減等による環境負荷の低減にも繋がります。「eco活動の一環」としての観点からも、職場環境の改善に取り組んでいます。

ワークライフバランスの実現

テレワーク

場所や時間にとらわれない柔軟な働き方であるテレワークを実施しています。



福利厚生の拡充

35歳以上の高度健康診断補助や、社内活動など、社員の健康促進や社員間の親睦を深める取り組みを実施しています。

労働安全衛生

「安全で健康的な働きやすい職場」を目指して

50名以上が在籍する各拠点で、安全衛生委員会を組織し、毎月、安全衛生委員会を開催しています。他の支店においても安全衛生推進者を任命し、定期的に労働安全と労働衛生に関する課題の審議を行い、安全で健康的な働きやすい職場の実現に向けて活動しています。

労働安全衛生コンサルタントや社外講師による講演

全国安全週間や全国労働衛生週間には、労働安全衛生コンサルタントを迎え、労働災害の防止やメンタルヘルスについて講演いただき、自己管理も含めた職場環境の改善に努めています。また、交通災害ゼロを目指し、社外講師を招き講習会を実施し、従業員の安全運転意識の向上に努めています。

産業医・保健師による面談

産業医による健康相談を開設し、長時間労働該当者の健康面談だけでなく、希望者も健康面談が受けられる環境を整えています。

ストレスチェック

従業員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを行うとともに、ストレスチェックの結果を分析することにより「仕事によるストレス」の緩和・減少に努めています。

内部通報制度

コンプライアンス違反や迷惑行為のない職場づくりの一環として、内部通報制度運用規程を制定し、従業員が総務部門へ直接報告できる環境を整えています。

資格取得の奨励

法定資格や社内資格の取得を奨励することにより、従業員の能力向上に取り組んでいます。「火災リスク簡易診断 認定診断員」は研修及び実地での診断実習を併せた認定制度となっています。また、消防設備士をはじめ、取得を奨励している法定資格については、社内勉強会の開催や学習資料の配布などを実施しています。

新人育成プロジェクトの運用

当社組織の永続的強化を図ることを目的として、新人社員への教育体制を整え、2年間で一定レベルの力量を習得できるためのプログラムを用意しています。新入社員のモチベーション向上を促すとともに、指導員の成長、更には組織全体の成長につなげてまいります。



人材の育成と防災教育



社外の方々に向けて、「防災スペシャリストの育成」を目的とした研修会を開催しています。また、売上の一部を利用して学校建設と防災教育に取り組んでおります。

セールスカレッジ

新しく防災業界に就労された初心者向けの基礎学習プログラムです。年1回～2回開催し、毎回、全国から多くの方に受講いただいています。



SPSクラブマイスター研修

体験型消火設備機器総合研修センター「実消館」に於いて、消火設備に関する技術習得を目的とした「体験型スキルアッププログラム『マイスター研修』」を設備別に開催しています。

- 水** スプリンクラー設備、屋内・屋外消火栓設備
- 泡** たんぱく泡消火設備、水成膜泡消火設備
- ガス** IG541消火設備、二酸化炭素消火設備、自動消火装置（キャビネックス）
- 粉末** 粉末消火設備
- その他** 防雷神(内部雷保護システム)、厨房用自動消火装置、自動火災報知設備等



- 屋内消火栓操作体験 -



- 消火薬剤充填体験 -

東南アジア向け学校建設プロジェクト S-PROJECT



消防設備機器の売上の一部で学校を建設し、子どもたちに教育の機会を提供します。

地域・社会への貢献活動



自治会や消防団・子供たちにも、全ての消火設備の見学ができ、操作・薬剤の放出・点検等の作業実務を経験いただく場として「実消館」を設立しています。取扱商品やサービスを展示した「ビックスギャラリー」と合わせ、創立120年以上の歴史の中で培われた防災に対する意識、設備をご覧ください。

安全・安心のための消防設備機器を理解していただく取り組み

ビックス ギャラリー Bix Gallery

当社が取り扱う様々な製品やサービスをご覧ください。訪れた皆様に「たくさんのビックリ」を発見していただきたいという思いが込められた展示室です。



じっしょうかん 実消館

各種消火設備の実物をオープンスタイルで設置していますので、消火設備をご理解いただきやすく、消火器の放出や設備操作、設備点検等も実際に体験していただけます。

- 『実』 実際体験を柱とした研修を行うことを目的に設立
- 『消』 消防防災業界の成長と発展を目指し、引いては国家と国民の安全向上に寄与することを目的として設立
- 『館』 建物の意

敷地外清掃

定期的に、枚方本社工場、枚方第2工場周辺の敷地外清掃を実施しています。従業員の美化意識の向上と地域や周辺環境美化活動を推進しています。



企業版ふるさと納税の実施

地域社会への一層の貢献を目指し、2024年度には、企業版ふるさと納税制度を活用し、8自治体へ地域の防災力向上と安心・安全なまちづくりの支援に取り組みました。

今後も、防災機器メーカーとしての専門性を活かし、各地域の特性や需要に応じた支援を継続的に実施してまいります。



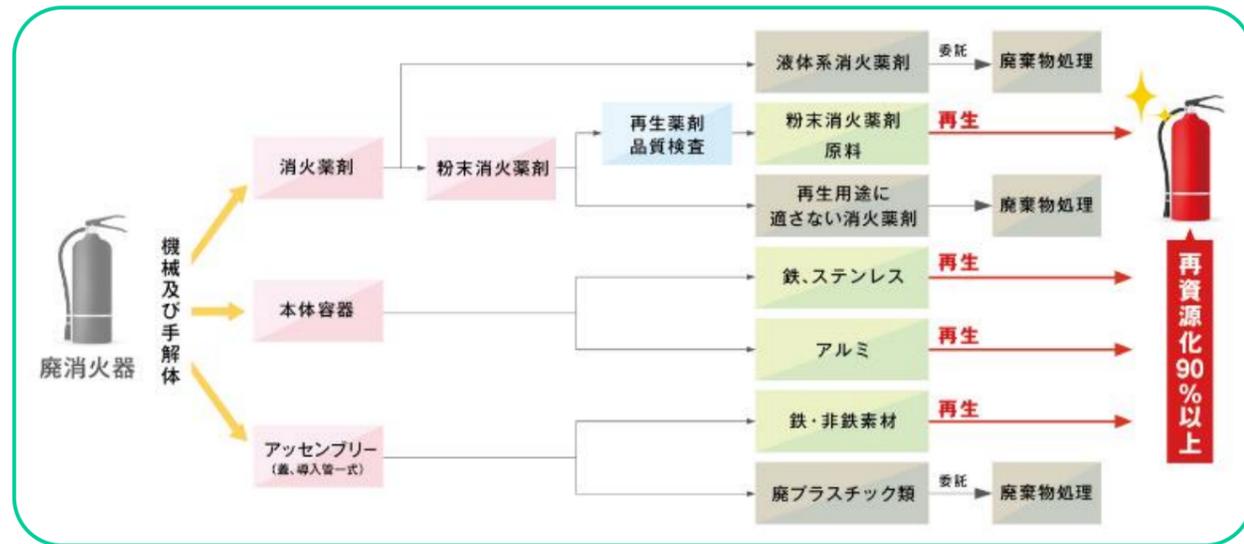
サステイナブルな取り組み



HATSUTAは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の「広域認定制度」の認定を受け、市場から回収した廃消火器をリサイクルしています。また、使用済みペットボトルを原料として作られた再生ポリエステル糸を消火栓のホースに利用し製造しています。これからも製品のライフサイクルを通して環境負荷を考え、資源の有効活用と地球環境の汚染防止に貢献していきます。

廃消火器のリサイクル

廃棄処分となった消火器は、廃消火器リサイクルシステムにより回収し、解体処理を行い、消火薬剤・容器・部品等に分別することにより、再資源化しています（再資源化率は90%以上）。廃消火器からとりだされた消火薬剤は異物・変質物を除去し、HATSUTA独自の撥水処理を行って均質化し、原料化します。そして蛍光X線分析装置による厳しい検査に合格し、現行製品と同等の性能・品質を有するものだけが消火薬剤としてリサイクルされます。新たに製造する粉末消火薬剤にはリサイクルした消火薬剤を60%~80%の割合で混合使用しています。



ペットボトル再生糸を利用したホースの製造

ペットボトルから作られた再生糸を使用し、しなやかで耐摩耗性に優れた、取り扱いやすい製品も製造しています。ペットボトルの本数に換算すると、65Aホース1本あたり167本のペットボトルを使用しています。



ECOホースを使用した広範囲型2号消火栓

オゾン層保護運動への取り組み



ハロン代替消火剤の活用

ハロンはもっとも効率的なガス系消火剤として広く利用されてきましたが、地球保護の役割を果たすオゾン層を破壊するためモントリオール議定書に基づき製造中止となりました。

ハロンの代替消火剤としてHATSUTAが取り扱う『IG-55』『IG-541』は、大気中に存在する窒素・アルゴン・二酸化炭素（IG-55の場合は二酸化炭素を含まない）の混合ガスですので、オゾン層を破壊することのない、地球環境保全に寄与するガス系消火剤です。

ハロン消火薬剤回収システム(消防環境ネットワーク)

1994年以降、ハロンの生産が全廃されたことを踏まえ、消防環境ネットワークでは、「ハロンの適正な管理・回収・再利用」や「リサイクルハロンの活用による必要量の供給」、「ハロンのみだりな放出の防止」などの普及啓発活動に取り組まれています。当社も、地球環境保全に寄与するため積極的に取り組んでおります。



地球温暖化対策への貢献



地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」、そして我が国の2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現という目標に向け、温室効果ガスの排出量削減のためにHATSUTAにできることから、取り組みを行っています。

デコ活



「デコ活」は、2050年カーボンニュートラル及び2030年度温室効果ガス削減目標の実現に向けて、企業・自治体・団体等と一緒に、豊かな暮らし創りを強力に後押しすると共に、新たな消費・需要の喚起に繋げる取り組みです。

当社も「デコ活」に賛同し、できることから取り組んでいます。

省エネルギー化

「オフィスの照明をLEDに変更」し、「始業前や昼休憩時に消灯」するなどして、電力の削減に努めています。

COOL BIZ期間中は、ノーネクタイ・ノージャケット・ポロシャツの着用を励行しています。また、室温が28℃を超える場合には冷房を使用するよう努めています。

再生エネルギーの活用

枚方本社工場内、リサイクル工場の屋上に太陽光発電設備を設置し、再生エネルギーの活用に努めております。



ペーパーレス化

文書類やFAXを電子化し、紙の削減に努めています。



地球温暖化対策への貢献



環境データ

当社では、エネルギー使用量・水使用量・二酸化炭素排出量・産業廃棄物排出量の監視を行っています。

電気・ガス・水使用量 および 二酸化炭素排出量 (集計範囲：国内全拠点)

	電力使用量 (千kWh)	ガス使用量 (千m3)	水使用量 (千m3)	エネルギー起源 二酸化炭素排出量 (千tCO2)
2024年度*	2,813	63.5	17.9	1.5

*：官庁年度

拠点別 電気・ガス・水年間使用量

	電力使用量 (千kWh)	ガス使用量 (千m3)	水使用量 (千m3)
営業拠点	455	0.01	3.2
生産拠点	2,358	63.5	14.7

エネルギー起源二酸化炭素排出量 内訳

活動の種類	二酸化炭素排出量 (tCO2)
燃料の使用	254
都市ガスの使用	51
(供給された) 電気の使用	1187

廃棄物排出量



(集計範囲：国内生産拠点、
産業廃棄物管理票より集計)

	産業廃棄物排出量 (t)
2024年度*	207

*：官庁年度

生産拠点別年間排出量 (t)

枚方本社工場	95
阿賀野工場	43
伊賀第1工場	40
伊賀第3工場	22
枚方第2工場	7

(産業廃棄物の排出がない拠点を除く)



HATSUTA「ECO&CSR報告書2025」アンケート

HATSUTA「ECO&CSR報告書2025」をご覧いただきありがとうございました。
皆様からのご意見をもとに、今後発行する「ECO&CSR報告書」の内容を充実させていきたいと考えていますので、是非ともご意見・ご感想をお寄せください。
お答えいただきましたアンケートは、下記の宛先へメールまたはFAXをお願いいたします。

Q1. この報告書の読みやすさはいかがでしたか？

わかりやすい 普通 わかりにくい

具体的にご意見等がございましたらご記入をお願いいたします。

Q2.この報告書の内容で、特に印象に残ったことはどの項目ですか？（複数回答可）

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> トップメッセージ | <input type="checkbox"/> 会社概要 | <input type="checkbox"/> 企業理念 |
| <input type="checkbox"/> 組織体制 | <input type="checkbox"/> HATSUTAの取り組み | <input type="checkbox"/> 事業内容 |
| <input type="checkbox"/> サービス | <input type="checkbox"/> 関連会社と販売代理店 | <input type="checkbox"/> 防災関係者の安全性向上に向けた取り組み |
| <input type="checkbox"/> 確実な初期消火の普及に向けた取り組み | <input type="checkbox"/> 職場環境の改善 | <input type="checkbox"/> 地域・社会への貢献活動 |
| <input type="checkbox"/> 人材の育成と防災教育 | <input type="checkbox"/> オゾン層保護運動への取り組み | <input type="checkbox"/> サステイナブルな取り組み |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策への貢献 | | |

具体的にどのようなことが印象に残りましたか。

Q3.この報告書を読まれて、HATSUTAの取り組みについてどのように感じられましたか？

かなり評価できる 評価できる あまり評価できない 評価できない

具体的にどのように感じられましたか。

Q4.今後のHATSUTAの取り組みや、報告書に期待されるのはどの項目ですか？（複数回答可）

- | | | |
|---|---|--|
| <input type="checkbox"/> トップメッセージ | <input type="checkbox"/> 会社概要 | <input type="checkbox"/> 企業理念 |
| <input type="checkbox"/> 組織体制 | <input type="checkbox"/> HATSUTAの取り組み | <input type="checkbox"/> 事業内容 |
| <input type="checkbox"/> サービス | <input type="checkbox"/> 関連会社と販売代理店 | <input type="checkbox"/> 防災関係者の安全性向上に向けた取り組み |
| <input type="checkbox"/> 確実な初期消火の普及に向けた取り組み | <input type="checkbox"/> 職場環境の改善 | <input type="checkbox"/> 地域・社会への貢献活動 |
| <input type="checkbox"/> 人材の育成と防災教育 | <input type="checkbox"/> オゾン層保護運動への取り組み | <input type="checkbox"/> サステイナブルな取り組み |
| <input type="checkbox"/> 地球温暖化対策への貢献 | | |

具体的にどのようなご期待かお聞かせください。

Q5.この報告書をどのような立場でお読みになりましたか？

- | | | |
|----------------------------------|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お客様 | <input type="checkbox"/> お取引先 | <input type="checkbox"/> 企業の環境担当 |
| <input type="checkbox"/> 政府・行政関係 | <input type="checkbox"/> 研究・教育関係 | <input type="checkbox"/> 報道関係 |
| <input type="checkbox"/> 事業所近隣住民 | <input type="checkbox"/> 認証・審査機関 | <input type="checkbox"/> 環境団体 |
| <input type="checkbox"/> 学生 | <input type="checkbox"/> その他（ ） | |

Q6.その他、ご質問、ご意見、ご要望などをお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。差し支えなければ下記にもご記入をお願いいたします。

※個人情報の取り扱いについて：収集させていただきます個人情報につきましては、アンケートの調査・分析、報告書の充実の目的以外には使用いたしません。
同意いただいた上で、個人情報の記入・送付をお願いいたします。

ふりがな		性別	男	女	年齢		歳
お名前							
ご住所		ご連絡先					
ご職業・勤務先		部署・役職					

アンケート送付先

株式会社初田製作所 品質保証・環境管理部
Mail: kankyo@hatsuta.co.jp / FAX: (072) 850-9710